備前市事務事業評価シート

（平成23年度事業）

事業の概要

事業開始年度	平成17年	根拠法令・例規等	ホームページ運営方針
総合計画 大項目	基本目標 05 住民主体の協働のまちづくり	問合先 担当課（室）	総務課
総合計画 中項目	基本施策 01 住民主体で進めるまちづくり	問合先 職・氏名	係長 河井 健治
総合計画 小項目	施策 01 広聴広報	問合先 電話	0869-64-1800
事務事業名	05 ホームページ作成事業	このシート作成に要した時間	1.0 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	インターネット環境にある市民（市内外を問わず備前市の情報を知りたい人）
目的（何のために）	利用者の利便性を考慮し、分かりやすく行政情報を提供する機能や利用しやすい市役所のポータルサイトとしての機能充実を図る
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	閲覧しやすいトップページに改良し、内容を充実させることでアクセス数を増やす

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
ホームページコンテンツ作成事務	「広報びぜん」のＰＤＦ版、テキスト版及び月間の「行事予定」の更新掲載とメールマガジンの発行、「クローズアップびぜん」の掲載・更新を日々行い、市内の動きを市民に伝える	◎

事業費等		単位	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度実績	
決算額 事業費	直接事業費	千円	0		0		0	
決算額 事業費	必要人員 人件費	千円	0.07人	651	0.12人	1,040	0.11人	1,047
決算額 事業費	事業費計	千円	651		1,040		1,047	
決算額 財源	国県支出金	千円						
決算額 財源	受益者負担	千円						
決算額 財源	繰入金	千円						
決算額 財源	市債	千円						
決算額 財源	その他（ ）	千円			90		405	
決算額 財源	一般財源	千円	651		950		642	
受益者負担比率		%	―		―		―	

結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
結果指標	クローズアップびぜん年間掲載件数	説明	画像付きお知らせ記事		
結果指標	結果指標量	件	260	386	449
結果指標	対前年比	%	―	148.5%	116.3%
結果指標	活動コスト	円	651,000	950,000	642,000
結果指標	単位当たりコスト	円	2,504	2,461	1,430

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標であるる成果指標に留意しながら有効性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
アクセス件数	目標値（A）	2,000,000	2,500,000	2,500,000	3,000,000
	実績値（B）	2,419,592	2,643,513	2,502,767	到達目標値
	達成率（B/A）	120.98%	105.74%	100.11%	3,000,000

成果指標設定の考え方・式や説明

市民等の市ホームページへのアクセス数を指標とする

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ ＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください ＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性 必要性

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ■ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- ■ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

効率性の評価

コスト手段

- ■ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- □ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- ■ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ■ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

有効性の評価

目的達成度 市民参画度

- □ 成果指標の設定は適切である
- ■ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- □ 法定事務 ・ 内部管理事務 であり成果は求めにくい
- ■ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

進行年度（H24年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				

説明：本年度中にホームページの表示幅を改善し、併せてバナーを整理することで見やすい環境整備を行い、見やすいホームページに改善してアクセス数の増加に努める。
各部署により的確な更新を推進し、更新された内容をチェックすることにより、常に適正で最新の情報を提供できるよう指導を強化する。

総合評価

現在の情報入手ツールとしては、重要性なものであることから、見やすくて分かりやすいホームページを作成することで、行政側からの積極的な情報発信によるアクセス数の増加に努める必要がある

総合評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

Action

平成25年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：各所属が積極的にホームページの内容充実に取り組めるように、継続した指導と研修会の開催に努める